

住所 〒168-0082 東京都杉並区久我山1-9-1 電話 03-3334-1151 FAX

URL <http://www.kugayama-h.ed.jp/>

帰国生受け入れ開始年度 平成22年度入試より

2019年度帰国生在籍数

帰国生のための部署/担当 特になし/入試広報部長 三戸治彦 先生 問い合わせ先 nyushi\_kugayama@kokugakuin.ac.jp

帰国生入試について(中学入試)								
出願資格・条件	①2019年(平成31年)3月に日本の小学校またはこれに準ずる海外の学校を卒業見込みのこと。※保護者のもとからの通学を原則とします。②保護者に伴う海外在留期間が1年以上あり、2016年(平成28年)4月以降に帰国、または帰国予定であること。③本校の教育を支障なく受けられること。							
出願書類	1、写真票(学校提出用)1枚 2、成績通知書(出願時在籍校小学6年生1学期末のもの)のコピー 3、海外在籍証明書(本校所定の用紙。代表者印が押されているもの) 4、志望理由書(本校所定の用紙。日本語で記入。ペンまたはボールペンを使用し、自筆によるもの) ※3・4の本校所定の用紙は本校HPより印刷(A4サイズ・普通紙・白)してください。							
過去3カ年の応募状況	【中学】	出願者数	受験者数	合格者数	【高校】	出願者数	受験者数	合格者数
	2019年	男15・女6	男12・女6	男4・女3	2019年	男9・女1	男9・女1	男5・女1
	2018年	男20・女10	男17・女7	男5・女3	2018年	男10・女3	男9・女2	男4・女1
	2017年	男13・女7	男12・女7	男6・女4	2017年	男25・女2	男25・女2	男14・女2
帰国生の編入試験について								
出願資格・条件	※年3回(7月・12月・3月)に募集をかけますが、在籍数の関係で募集学年が決定いたします。決定した要項は年3回(6月・12月・2月)中旬に出願資格と共に本校HPにて掲載いたします。							
出願書類	1、転入学願書(本校指定のもの) 2、在学証明書 3、成績証明書(今年度の欠席・遅刻の日数を明記したもの) 4、転学照会(本校所定のもの)							
クラス配置・一般生との位置づけ								
帰国生のクラスは一般入学者のクラスと分けておりません。本校は特進クラスである「STクラス」と男子は「一般クラス」、女子は「CCクラス」とに分かれておりますが、帰国生入試の合格者は原則「一般・CCクラス」へ編入されます。しかし、持ち前の積極性を発揮し、STクラスに移動する生徒も少なくありません。また、女子のCCクラスでは、外国人留学生の方々やアメリカの大学生と交流を深める行事や、global studies という授業がありますが、そこでは中心となり、活躍してくれています。								
帰国生への学習指導								
外国語、日本語の取り出し授業や補習などは特に設けておりませんが、現在まで日本語で困った生徒は入学していません。取り出し授業をおこなっていないということは、受験前の説明会などでも周知しており、結果として英語圏ではない国からの帰国生が多くなっています。ただ、英語圏から入学した帰国生で英語力を落とすたくないという生徒に対し、英語検定準一級を持っているという条件のもと、昼休みなどを使ってネイティブの教員と会話する機会を定期的に持っています。								
入試に向けての事前準備や意識しておいてほしいこと								
入試科目は、中学は「算数・国語」または「算数・英語」の選択になります。また、高校は「国語・数学・英語」の3教科です。中学の英語の試験は英語検定準2級レベル、高校は英語検定2級レベルです。他の教科は一般入試の問題を参考としてください。入試問題は、帰国生・一般生入試ともに、正答率が0に近いような超難問や、特別な知識がないと解けないような問題はあります。帰国生の受験生には厳しいところもあるかもしれませんが、中学受験の標準的な問題を苦手な分野をつくらないように学習しておいてください。また、帰国生入試では、中学高校とも面接を受験生・保護者別々に実施します。面接は本校の教育方針をどれだけ理解していただいているかを確認するためのものです。								
帰国生の卒業後の進路・進学状況について								
一般生と大きく変わりはありません。理系を選んで医学部に進学する生徒から、国際関係の学部に進学する者など多岐に渡っています。								
留学制度や海外大学進学支援体制について								
中学高校とも海外留学規定を現在作成中です。								
帰国生や海外在住生徒保護者へのメッセージ								
本校では帰国生に対して、英語の取り出し授業や、帰国生を集めるクラス編成をするなどの特別な配慮はしておりません。しかしながら、一般生も参加できる國學院大学の留学生との交流会や、アメリカの大学生と一緒に宿泊するサマーキャンプなどの行事がたくさんあり、海外での経験を更に深めることのできる学校です。是非一度学校に足をお運びいただき、生徒の様子をご覧ください。								